

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和2年6月5日	決裁	令和	年	月	日
議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	主 査	担 当	文書取扱主任					

第 3 回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会会議録

開催年月日		令和2年4月20日（月曜日）		開会9時55分		閉会10時43分	
開催場所		第一委員会室					
出席委員		柴田、田村、三上、山本、寄谷、佐々木、安樂、 荒木、東元、正副議長				事務局	竹谷事務局長
							深村次長
欠席委員							池田主査
説明員		別紙のとおり					
議件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1 調査事項について						
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。						
	（1）滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について						
	2 その他について						
	・議長の提案により、滝川市議会のコロナウイルス感染症拡大防止及び感染時の対応（案）を作成し、早急に全議員へ提示することとした。						
	・安樂議員の提案により、3密状態にならないように、次回からの委員会の場所を検討することとした。						
	3 次回委員会の日程について						
	5月7日（木）午後2時00分と確認。場所については、後日連絡することとした。						
	上記記載のとおり相違ない。						
滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員長 柴田文男 ㊞							

令和2年4月17日

滝川市議会議長 関 藤 龍 也 様

滝川市長 前 田 康 吉

滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会への説明員の出席について

令和2年4月17日付け滝議第20号にて通知がありました滝川市新型コロナウイルス対策特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

委員会に出席を求められた者

市長

前 田 康 吉

滝川市長の委任を受けた者

副市長

千 田 史 朗

総務部次長

堀之内 孝 則

保健福祉部長

和 田 英 昭

保健福祉部健康づくり課長

森 昌 之

保健福祉部健康づくり課長補佐

運 上 明 子

(総務部総務課法制文書係)

第3回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会

日 時 令和2年4月20日（月）

午前10時00分～

場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 調査事項について（◎は議案関連）

（1）滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について （資料）保健福祉部

2 その他について

3 次回委員会の日程について

5月7日（木）午後2時00分 第一委員会室

○ 閉 会

第3回 新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会

R2.4.20 (月)10:00～

第一委員会室

開 会 9:55

委員長 ただいまより第3回の新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開会します。

委員動静報告

委員長 委員動静であります。全委員の出席、議長、副議長の出席をいただいております。木下議員、山口議員、渡邊議員、水口議員が傍聴しております。プレス空知の傍聴を許可します。後ほど北海道新聞社も来る予定となっておりますので傍聴を許可します。

1 調査事項について

委員長 それでは、早速調査事項について説明を求めたいと思います。
滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について説明を求めます。

(1) 滝川市新型コロナウイルス感染症対策本部の経過報告について

和田部長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 それでは、説明が終わりました。

安 楽 これより質疑に入ります。質疑ございますか。

大きく3点について確認をさせていただきます。

まず、1点目については、市内コンビニ、またいろいろなスーパー等で今ビニールシートを上からつるして、飛沫感染を防ぐためにいろいろな措置をしているのですが、市の市役所の窓口、それから市立病院とまだされていないというふうに認識しているのですが、これについてどのようにお考えか伺うのが1点目。

2点目、ニュース等で今札幌、それから東京でもそうなのですが、医療関係とかクラスター感染が非常にはやっている。それで、2月に市立病院にN95のマスクが300枚納入されて、その後にサージカルマスク等も納入されているというのは聞いてはいるのですが、現状どういうふうになっているのか。また市の窓口、市民と直接接するところ、前回補正で予算を承認したのですが、その窓口への配付等はどうなっているのかということをお聞きします。

3点目なのですが、今国では一律10万円支給をするということになっているのですが、現状滝川だけではなく、この近隣、特に飲食店等非常にお客さんが少なく、困っているというような状況が発生しています。市としてプレミアム飲食券の話は聞いておりますが、それ以外に何かお考えを持っているか確認したいと思います。

和田部長 まず、1点目の窓口の対策につきましてですが、金曜日の本部会議の中でも、議題といたしましうか、話題に上っております。今現在市役所はまだ設置してありませんが、1階の窓口、それから3階の窓口、それから2階、図書館は今休館しておりますが、図書館を開館した場合には図書館の窓口、それから併せて市立病院の医事の窓口というところにつきましては、今どういうものがあるのかを含めて設置をするということで検討を進めております。

それから、市役所職員の窓口のマスクにつきましては、現在備蓄といたしましうか、予備のマスクももちろん防災で幾らか持っております。今現在は職員につきましては全員マスク着用なのですが、それぞれ自分で確保できる分

については自分で確保したものを利用しております。どうしても手に入らないという職員につきましては、枚数の限定をしておりますが、窓口職員につきましては全員に行き渡るように市の備蓄している部分から配付をしているという状況で、今現在は全員マスクをしっかりと対応しているということです。それから、病院のマスクにつきましては、後ほど市長のほうから答弁いたします。

市 長

病院のマスク等の医療器具についてですけれども、十分とは言えませんが、確保はされております。しかしながら、これからもなかなか入ってこないということです。逐次要請をして納入していただくようお願いをしているということでもありますし、病院間の融通ということも多少していただけたところがあるようですので、その中で何とか今整備しているところではありますが、今後予断は許しませんので、それはきちんと行っていただきたいということで病院と話をしております。また、病院でも今後中等症、また重症化の傾向が強まった場合の対応についても病院内に対策本部をつくって、それらに対応すべく今いろいろとシミュレーションをしていくということを始めようとされていますので、今後に向けての準備は怠りなくやっていると聞いております。次に、支援についてであります。最近10万円の特別給付金のほかにも自治体に対する地方創生交付金が1兆円ということが言われております。5,000億円、5,000億円を市町村と都道府県にと言っておりますけれども、まだ先がよく見えておりません。どのような形で使わせていただけるのか、休業補償に充てることを認めるという発言も西村大臣からあったようですけれども、それが道から来るのか、それが市として使わせていただけるのか、これらもほとんど分からないという状況であります。そんな中で、またこの交付金については様々なものに使うようにという話もあります。医療整備に使う、また教育等々に使うようなお金だという説もありますので、もしかするとこれらについて例えばリモート教育ということで学校の1人1パソコン、これで用意しろと言われたときにはとても足りないぐらいのお金が出ていくということになります。それらをどう判断していくかというのは非常に難しいところではありますが、お話のとおり市内の飲食店の皆さんは厳しいと、また商店でも赤字の商店が随分あると聞いております。本当に大変な状態だなと思っているわけです。前々から議会においても議論をされまして、飲食券だけでは全然もたないではないかと、そんなものはやめてほかのものにしたらいいのではないかとという声もありますし、タイミングを考えなければいけないと、いろいろお話を頂いておりました。飲食券についてはタイミングを見ながらというか、適時発券することで今予定をしておりますが、最近それぞれの自治体において支援する動きもあります。登別においては各飲食店に一律10万円、根室においては5万円、浦臼町においては住民1人当たり5万円ということが続いております。

それらを考えたときに、滝川市としても何か手を打たなければいけないという思いは持っております。その交付金がいづれ来るか分からない。6月以降と言われております。金額も分からない。その中でどのような手を打つかと考えたとき、前にも議会でお答えしましたが、今滝川市は非常に厳しい財政状態であります。この中において、滝川市立病院の業績はさらに悪化をしております。赤字が大幅に膨らんでおります。一般財源からの繰り出しにも限界がありますけれども、出し続けなければいけない状況がさらに続いております。その中において、何度も申し上げていますが、市民サービスをいかに低下させないでいくか

ということは非常に大きな課題であります。高齢者の皆さん方のサービス、これをどう維持するか、子供たちへの教育に対する支援、これをどうしていくかということを考えてときに、滝川市は非常に余裕がありません。ですから、私としては原資となるお金をいかに確保するか、例えば1件10万円の支援を飲食店街にするとしても、その原資をどうするかというのは非常に大きな課題であります。今それらについて鋭意努力をさせていただいているところであります。そういうものが用意できるという判断がなされたときには適切な判断で飲食店の支援等、登別市では家賃助成、経費助成という形で出しているようですが、どんな形にするか分かりませんが、そのような形でお金を出して緊急的な支援をするというのも必要かなと思っておりますし、その後には持続化給付金というも行われることになっております。これは、中小企業が200万円、個人事業者が100万円ということになっていますが、これらが全ての方々に当たるのかというとなかなか難しいということ、そしてまた国の資金が非常に手間がかかるということですので、これもしばらく時間がかかるだろうと。そういうことを考えたときには、やはり緊急的に今支援することは考えなければいけないと考えております。しかしながら、滝川市の財政を十分考えた上での判断をしなければいけないということでもありますので、その点はぜひご理解をいただきたいと思います。また、持続化給付金につきましては、今後もしかりにして支給していただけるかという方法をそれぞれの希望する方々に迅速に支給できるように、事務作業等に非常に煩雑な部分がありますので、いろいろとお手伝いと指導をさせていただいて、一刻も早くそれらが支給できるような形をつくっていきたいと思っております。

また、雇用助成金等につきましては非常に厳しいです。非常に煩雑な事務手続があつて、また条件が厳しいということで、2か月待ち、それでも受け取れないという企業がほとんどだろうという話になっております。厚生労働省には非常に強く改正をお願いをしております。しかしながら、国は雇用助成金があるのだからいいのではないかと思いますけれども、うそだろうということで強く今お願いをしていますので、本日ご出席の委員の皆様方におかれましてはそれぞれ国会議員等にお付き合い等ある方がいらっしゃると思います。日本共産党を代表している寄谷委員もそうでございますけれども、そういう皆さんのお声をぜひ国に上げていただいて、そのような雇用助成金、表向きは出ているようだけれども、実際は何にもならないお金だということを強く地方から声を上げていただきたいなと思います。繰り返しになりますが、市内の大変苦しんでいる皆さん方に対する支援、即刻にやらなければいけないと思っておりますが、今その原資等を精査しているという段階であるということでご理解をいただきたいと思えます。

安 楽

市長のご答弁で今の状況についてはよく確認ができました。本当にあした食べるものもないと、あと従業員をやめさせなければいけないとか、そういう状態ももう出てきていると伺っております。原資がなくて大変なのは我々も重々承知しております。何とか知恵を絞ってお願いをしたいなと思います。

1点だけ確認させてください。先ほどの市職員のマスクの話なのですが、今各人ごとに準備をさせているということなのですが、インターネットで高いマスクが若干今出てきていますけれども、窓口の人たちは仕事でやっているわけですから、早急にマスクを市としても確保して配付すべきではないかなと思います。入荷の予定とか、何かありますか。

市 長

職員のマスクについてご配慮いただきましてありがとうございます。本当に窓口の皆さん方は大変ですので、ビニールシートを今かける努力は、材料がどうのこうのでまだ時間はかかりそうです。早急にやらなければいけないのですけれども、マスク等も皆さん各自用意していますし、最近おかげさまで手作りマスクというのも随分普及しています。アベノマスクが来るのは多分来月以降でしようから、それまではもたないと思いますので、手作りマスク等で皆さん方には頑張っていただくしかないのかなと思っておりますし、今教育委員会では運動を始めております。この際ですから、マスクの話題ということで私からお願いを申し上げたいと思いますが、小学校でマスクがないということではじめがあったという事実もメールで来ております。そんなことがないように、子供たちには安心して学校に通っていただけるような環境をつくると、5月6日まで臨時休業ですので、当分の間は大丈夫でしょうけれども、その後についてはこのようなコロナウイルスの問題は長引くというふうな話がございますので、ぜひ子供たちには十分なマスクを確保したいと思っておりまして、ぜひとも皆様方にそういう手作りマスクを集めていただくとか、それを学校に寄贈していただくということも1つかと思います。前にも一度提案させていただきましたけれども、クラウドファンディングでお金を用意して、その材料を婦人会等々にお渡しをしてマスクを作っていただくということをお願いしてはいかがかと申し上げたのですが、なかなか動いていただく方々がいらっしゃいませんでしたので、その夢はかないませんでした。今各地をお願いをしてそれを進めていただいております。また、アベノマスクも改良すると手作りマスクになるということもあって、様々な形で支援の輪を広げていきたいと思っておりまして、職員に対していろいろとお気遣いいただくとともに、子供たち、また高齢者施設の皆さん方にも十分それが届くようなお手伝い、配慮を議員各位にはぜひくれぐれもお願いしたいと思います。

委 員 長
三 上

他に質疑ございますか。

財政的に大変厳しいということは我々も分かっております。それで、国がやっているというか、緊急小口融資というものがあまして、これは活用できると思うのです。10万円あるいは20万円という形で、社協が直接窓口になっておりますけれども、こういうような国の施策だとか、滝川市の施策もこれから入ってくるとは思いますけれども、一覧にして市民の皆さんがそれを見たらすぐ分かるような、この手続をすればいいのだなど、そういうものを5月の広報に間に合うように差し込みはできないものか伺いたいと思います。

市 長

5月の広報に入れるのはちょっと無理だと思っておりますが、三上委員おっしゃるとおり、その小口融資等を御存じない方もいらっしゃるということですので、いろいろと相談に訪れた皆様方にはこれもお話をしております。お話のとおり、先ほど言いました持続化給付金、それを受け取れる方、申請の仕方とか含めてホームページ等にアップする予定ではありますが、今お話しのとおり、印刷物にまとめたものを用意して配布することは検討したいと思います。また、皆様方からもぜひそのようなことは市に相談に行けということのアドバイスもお願いしたいと思いますが、緊急小口資金についてはやはり借金ということですので、お話をしてもこれ以上借金したくないから嫌だという声もありまして、それよりは給付を考えなければいけないかなと思っているのが現在でございます。

三 上

緊急小口なのですが、住民税非課税の方は返還しなくてもいいという条件があ

市 長
委 員 長
荒 木

りますので、その辺もぜひPRというか、告知していただきたいなと思っております。いかがでしょうか。

そのように努めてまいりたいと思います。

他に質疑ございますか。

市長から今お話があったので、もうそういう対策をしているのかもしれませんが、手作りマスク、教育委員会が呼びかけて、小中学校にという話があったので、いずれ布マスクが来ますよね。うちは使う予定がありません。小さいし、洗うと一回り縮むという話もあるので、そのまま眠ってしまう可能性がありますので、それも併せて、使わない方は寄贈してほしいというようなことを、市がいいのか、教育委員会がいいのか、対策本部がいいのか分かりませんが、呼びかけていただくようなことをしていただければ相当集まるのではないかなと思うので、そのまま封を開けないで汚染されないような状況で、さっき改良してというお話もありましたけれども、そのまま小学生は使えるので、できれば今のうちにそうしていただければ集めようもあるのかなという感じもしますので、ご検討いただければと思うのですがいかがですか。

市 長

あるまちではお菓子屋さんがそのマスクを持ってきたら300円の商品券を渡すというようにお菓子屋さんもあるようでございまして、様々な民間の方がご努力していただく、それはうらやましいなと思いました。当然使われない方はたくさんいらっしゃると思いますので、教育委員会と相談しながら呼びかけて、手作りマスクとともに呼びかけてはみたいなと思いますが、これらにつきましても議員の皆さん方がぜひ市民の皆様方にそれを広めていただきたいと思います。ホームページとかインターネットだけでは届かない方がたくさんいらっしゃいますので、それはぜひよろしくお願ひしたいと思います。

委 員 長
山 本

他に質疑ございますか。

2点ほどお伺いをします。

PCR検査の関係なのですけれども、当市で元職員の方が感染したときに濃厚接触者の方がPCR検査をさせていただけなかったという問題があるのですけれども、今報道等によりますとある県ではドライブスルー検査を実施して、一人でも多くの方のPCR検査をして感染者を野放しにしないという状況を生もうという全国的な流れになっているかと思ひます。そんな関係でいえば当然北海道でもそんな方向にいくべきかと思ひますので、PCR検査のドライブスルー検査ができるように滝川市としても道のほうに強く申入れをするべきではないかと思ひすることがまず1点です。

それと、もう一点は、この委員会の関係なのですけれども、こういう時期でありますので、今日は報告事項だけの会議だと思ひるのですけれども、できれば我々議会も集まる機会を極力少なくするのが現状かと思ひるので、これは委員長に後でお伺ひしますので、委員長に考え方を伺ひたいと思ひます。

その2点です。

市 長

PCR検査につきましては、確かに濃厚接触者、滝川市は受けさせてくれませんでした、美唄の消防職員は緊急性があるということで受けさせていただいたということで、違いがあるようではありますが、前々からPCR検査につきましてはより多くの方に受けていただいて、安心度を高めていただきたいというお願ひをしていました。ドライブスルー方式については、最近東京で始まったばかりでございまして、北海道でまだどこもやっていないということですので、それらについて道がどのように考えているか分かりませんが、PCR検査を早

期に実現するための申入れは何か月も前からお願いをずっと続けておりますが、一向に聞き入れてもらっておりません。ですから、ドライブスルー方式を申し入れたとして道が動くか、こちらの医師会等々がそのような形で保健所が動いていただけるかどうかというのは未定でございますけれども、積極的にお願いをしていきたいと思いますが、山本委員におかれましても関係の道議会議員等を通じて道にそのようなことをするようにぜひとも申し入れていただきたいと思います。また、ここにいる委員各位の全てがそんなことをお願いしていただきたいと思います。

委 員 長

休憩いたします。

休 憩 10:25

再 開 10:27

委 員 長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

先ほどの山本委員からのご発言でありますけれども、実は本日も緊急事態宣言を受けてのその後の対応について、やはり市民周知も必要だ、当然議員の皆さんへの周知も必要だということで、これは不要不急の委員会ではないと考えて開催を決定した次第であります。今後も、今山本委員からのご意見もございましたが、本当に必要やむを得ない会議と判断する場合は副委員長とご相談申し上げた上で開催をしていきたいと思っておりますが、これについて委員の皆さんからご意見ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、他に質疑ございますか。

佐々木

市立病院の関係でお聞きしたいのですけれども、今千歳とか札幌の院内感染が出て、クラスターが出ているのですけれども、結局話を聞くと、症状の出ない人たちが病院に来てしまったりして判断がつかない間に感染しているというような話も出ているのですけれども、滝川市立病院でもお話を聞くと、高齢者とか診察室に入ってから、実は熱が出ていてとか言う危険もあるのだという話を聞きました。前回のときにも言ったのですけれども、建物に入る前に外で熱が出ているか、出ていないかのチェックぐらいはしてから入れたほうがみんなが安心して受診できるのではないかなと思うのですけれども、その対策はどのぐらい進んでいますか。

市 長

病院側にはそのようなご意見があったことは伝えてありますが、病院としては今発熱外来を別に用意して動線を別にしているということで、今のところ問題がないだろうという判断のもとに行われておりますけれども、今日からまた新しく対策本部を立ち上げるということです。そちらには申入れをして、クラスターが発生しないように、院内感染の広がりがないように十分お願いをしてまいりたいと思いますが、本当に大きな問題でございます。先般私もちょっと喉が痛いからと言ったら、入り口は別なところを通されて、院長先生がフェースガードをして防護服で来て喉を診られました。こういう姿を見たら、私はしっかりとやってくれているのだというふうに安心しましたので、それでも念には念をといるところがありますので、そのことを申し上げたいと思います。

委 員 長

他に質疑ございますか。

寄 谷

市役所の勤務体制のことで伺いたいのですけれども、介護福祉課で元職員の患者が出たときに窓口閉鎖したのですが、今後滝川市役所内で発生したときに窓口を閉じるということはやっぱり市民生活に影響があるので、それを回避するような手だてが必要だと思うのですが、職員の出勤体制について、全員が出勤

するのではなくて分散で出勤したりして、万が一のことがあっても窓口は開けるとか、何かそういう体制が必要かと思うのですが、それについて何か対策を取っているか伺いたいのが1つと、あと市立病院なのですけれども、空いている病棟について使うというような予定があるのですが、実際に今の職員体制からいけば何人ぐらい、重症者が出た場合受け入れられるのかという、その辺の人数が想定されていれば伺いたい。

市 長

まず、市の体制でありますけれども、総務を中心にそのような対策といいますか、一応計画を立てております。そして、今テレワーク等がありますので、市の職員の時差出勤並びにテレワークがどれだけできるだろうかということは今検討中ではございますが、なかなかすぐにはできない。環境整備等もありますので、ただ窓口を閉鎖して市民の皆さんに迷惑がかかることのないような体制づくりは全て準備をしておりますので、十分できていると思っております。例えば窓口を全部閉めて江部乙に移った場合のこともシミュレーションしながら考えていかなければいけないと思っていますので、そのことを含めて計画は練っております。ただ、そのようなことがないように努力しておりますし、また計画どおりに全てがいくとは限りませんが、極力市民サービスの低下ということを招かないようなことだけはしたいと思っています。

次に、市立病院の重症化等々の件なのですけれども、私の個人的な意見もあるのですけれども、市立病院をそのような方を入れない病院にするというのも手かなと。ですから、例えば市内で軽症者、中等症ぐらいの方はもともと病院だった施設で空いているところがたくさんございますので、そこを借り上げて、そこに医師が訪問しながら経過観察するようなことをお願いできないかということをお話を今病院にお話をしております。そのような形で、市立病院には一切軽症、中等症を含めて入れないようにしていただくことが市立病院を守ることになるのかなと思っていますので、そのようなことを考えていただきたいというお話をしております。また、別に市立病院では先ほど申し上げましたとおり感染症対策、砂川でいっぱいになってきたときに滝川もいろいろと考えなければいけないということでありまして、今の空いている病棟、また異動等を含めて最低4床は確保できるだろうというふうなシミュレーションはしております。そのとおりいけるかどうかは分かりませんが、それに対する機材等々の準備もありますので、ざっと計算してそのぐらいかなという段階でありますので、これは正しい数字とは言えません。ただ、あれだけ大きな病棟でもそれだけの数しかお預かりといいますか、感染者の方に入院していただけないというふうな大きな問題になるということでもありますので、まだまだ予断を許さないのですけれども、そのようなことは心構え、準備としながら考えております。

委 員 長

他に質疑ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

議長、副議長からは何かございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、経過報告については報告済みといたします。

2 その他について

委 員 長

2、その他ですが、議長、副議長から何かございますか。

議 長

なかなか先の見えない対応に市長部局も大変苦労されているということは、ただいまの報告で十分理解させていただきました。そういった中で、滝川市議会としては全道の中でも早めにコロナ対策特別委員会を設置しながら、情報を共

有し、市民とともにいろいろ考えているわけですが、私ども滝川市議会としまして全国の市立病院協議会の役員をやっている関係で、そういったところの議長からいろいろ、コロナ対策についてどういった対応をしているのだということで情報を交換しております。そういった中で、議会対応と併せて議員の対応ということが1つ話題になって出てきまして、先ほど山本委員がいろいろご発言されましたが、そういった内容も全部網羅された中で、1つ皆さんにご意見としてお伺いしたいのが万が一議員が感染した場合どうするのだという対応についてでございます。議員が万が一感染した場合、これは即刻個人名を併せて公表すべきなのかということのご意見をお伺いしたい。福知山市の議会でございますが、ここは議員は公表するという対応を取っているようなのですが、この部分だけ皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。

副 議 長

福知山市では今回の議員の対応等についてのルールを定めているということなのです。ですから、そういうことをするべきかどうかということを経験して、するべきとしたらその原案を提示して皆さんにご意見いただくというやり方のほうがいいのではないのでしょうか。

委 員 長

ただいま議長からのご発言であります、議会としての感染拡大防止並びに感染時の対応についてマニュアル化をして、そして共通の対応を図っていくと。感染防止については当然両手伸ばして、今日は実は肩がぶつかるぐらいの距離ですけれども、これをさらに広げて会議を行う。これは、もちろん説明員の方もそうですし、傍聴もそうですし、委員長席等々も同じなのですが、そういったことを次の委員会で決めていきたいなと思っております。それで、その原案については議長、副議長に福知山の市議会で作成しているものが原案としてはございますので、それを基にして作成し、提出をしたいということで取り扱いたいと思いますが、そのような取扱いでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

それでは、委員会に報告するのか、できれば私は早急にこれは広めたいものですから、委員の皆さんに作成段階でファックス等で回しますので、ご意見があれば議会事務局に申し出られて、成案としていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

佐 々 木

これは、議会として一つの案をつくるかどうかも含めて皆さんの意見を聞きたいということですか。それができてしまったら、みんなそれに従わなければならないのか。

委 員 長

佐 々 木

マニュアルですから、基本的にはそれに従っていただくということです。マニュアルをつくるかつくらないかの判断というのは、今ここでしたほうがいいということですか。

皆さん今ので賛成ということなのですか。立場が違うので、例えば公開しないとかなくても、それぞれの議員によっては公開はしなければならないような、例えば私で言ったら公開しなければならないような職種にいますけれども、そこでもし議会としては公開しないとかというふうになった場合、そのルールに従えない議員も出てこないのかなという懸念がありますが、いかがでしょうか。

委 員 長

ですから、今マニュアルの原案を示しますので、それでそういうご意見があれば議会事務局に出していただいて、それで検討を再度行って最終的な成案をつくっていききたいということで今お話をさせていただいたのですが、よろしいでしょうか。名前を公表されて困るところは当然あると思います。議員としては

いいけれども、会社あるいは事業所としてはそれは非常に影響が大きいのでということもあるでしょうから、そういったことも含めて検討させていただくということでございます。

議長 最終的には、今の委員長の言われた内容につきまして二、三日中に早急に皆様方にご提示させていただこうと思っておりますので、今佐々木委員が言われたような内容についてご意見があれば早急に言ってきていただきたいと思います。

委員長 他にございますか。

安 樂 先ほど委員長が言ったのですけれども、今日の委員会、入ってきていきなり思ったのがはっきり言って3密状態、隣に行けばもっと広く委員の間隔も取れるし、そこが手狭だったら議場でやってもいいと思うのです。そういうところを次から改善してやっていかないといけないのかなと思います。

委員長 ただいま安樂委員からございました。この会場はやはりちょっと狭いと考えております。できれば私は議場が一番いいのかなと、ただ換気ということであれば隣の委員会室を通して使うのがいいのかなと思っておりますので、次回以降はこの会場ではないという前提で3密状態が可能な限り克服できるような会場での開催をしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長 他にございますか。

荒 木 先ほど議長、副議長から提案があったルールなのですけれども、それはもちろん賛同します。そのときに希望するのは、とにかく感染を広げない。議員の立場がどうか、そんなことではなくて、感染を広げないとか、市役所に迷惑をかけないとか、そういう判断をまず第一に持ってきてほしいなと。だから、我々がどういうふうにするとやりにくいとか、そういう感覚は持たないでつくっていただければありがたいなということだけ申し上げておきます。

委員長 先ほども申し上げましたが、基本的には前段は感染防止のための委員会、議会の在り方ということをしっかり明記していきたいということを議長、副議長から聞いておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

他にございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、その他については以上といたします。

3 次回委員会の日程について

委員長 次回委員会の日程であります。既にご承知のとおり、連休明け、5月7日木曜日午後2時より第一委員会室とありますが、この場所については後日お知らせいたしますので、対応方お願いしたいと思います。

以上をもちまして第3回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を閉会いたします。

閉 会 10:43